

2023 年度入学式 学長挨拶

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。希望に満ちた、皆さん一人一人の顔を拝見し、嬉しく思います。我々、こども教育宝仙大学の教職員一同、ご入学を、心から歓迎させていただきます。

ご家族の皆様も、お子様の、ご入学を、さぞかしお喜びのことと存じます。心からお祝いを申し上げます。4年ぶりに、ご家族の皆様もご臨席いただいて、入学式を挙行することができました。新型コロナウイルスの影響で、入学式を実施できず、翌年に2学年合同で実施したこともありました。本年度は、ご家族の皆様にも、お子様の晴れ姿を間近に見ていただくことができ、我々も嬉しい限りです。

皆さんは、高校3年間をコロナ禍で過ごされました。友達との交流、先生方からの授業や指導、クラブ活動や学校行事も制限され、思い描いていた高校生活を過ごせなかったかも知れません。そのような中でも、ご家族に励まされながら、学習意欲を維持し学びを続けられました。得られたものも数多くあり、忍耐力や自己管理能力、そして人を思いやる力は大きく向上されたことと思います。

新型コロナは、来月8日から5類感染症に移行し、制限が大きく緩和されます。本学では、この4月から、授業も原則として対面授業に切り替えます。

アフターコロナを象徴するかのように、先日は、満員のスタジアムで、WBC、ワールド・ベースボール・クラシックが開催され、見事に日本チーム「侍ジャパン」が優勝しました。日々の練習により身に付けた実力と気迫、チーム全員の明るさ、そして一体感には心打つものがありました。準決勝、決勝と、大接戦を制した、感動のドラマは長く語り継がれると思います。

皆さんが待ち望んでいた大学生活においても、同様に、明るさと、感動のドラマの予感がします。是非、学修に、色々な体験に、思う存分大学生活を充実させていただきたいと思います。

さて、本学に入学していただいたことは、大変良い選択をしていただいたと思います。現実となってきた、AI 時代には、事務的な仕事の消滅が言われており、雇用環境が大きく変わることが予想されます。その中で保育者は、AI ではできない、今後とも残る仕事の代表格です。人生 100 年時代を歩まれる皆さんは、卒業後 60 年程度は働くことになると思います。その際、本学で取得される、幼稚園教諭 1 種免許、保育士資格という、公的資格が大きな武器となります。

また現在、保育留学第 1 期生がオーストラリアで学んでいます。留学で取得できる、オーストラリアの保育者資格も、アフターコロナ時代の更なる国際化を見据えれば、新たな可能性を広げてくれることとなるでしょう。

昨年 4 月から、成人年齢が 18 歳に引き下げられました。皆さん全員が成人です。他の方の異なる意見、価値観を認め合うことが、成人としての第一歩です。その上で、自らの言動について、しっかり考え、しっかり行動する、責任を持てる成人となる必要があります。本学では、成人として一人で契約できるための大前提として、「約束を守る」「期限を守る」「責任を持つ」、そして悪徳業者等に「だまされない」の 4 つを『成人基礎力』と位置付けています。大学生活でも励行し、1 年生のうちに、この成人基礎力を身に付けていただきたいと思います。

2 年生以降は、保育実習、教育実習等で、他の大学の学部とは異なり、一足先に社会を経験することになります。実習に行けば、幼稚園、保育所の先生、子ども達、保護者、給食を作る方や、関係する取引先等、社会が色々な方で成り立っていることも分かります。そして実習生として、しっかり考え、行動することが求められます。その中で、社会人としての基礎力を身に付けていただきたいと思います。

本学での 4 年間で、人生 100 年時代を豊かに過ごすための、保育者としての公的資格と、社会人としての基礎力を身に付け、自立した成人への道を、着実に歩んで欲しいと思います。

また、この 4 月から、新たな国の機関として、「こども家庭庁」が発足し、「こどもまんなか社会」の実現に向け、社会全体が動き出しました。急速な少子化が進んでおり、次の時代を作る、子ども達を最優先にした政策を進めていこうというものです。新たな法律として「こども基本法」も施行されました。こどもの意見を聞くということも基本理念の一つです。保育者には、その担い手として大きな期待が寄せられています。皆さんには、4 年間しっかり学び、優れた保育者となり、「こどもまんなか社会」で大活躍し

ていただきたいと思っています。素晴らしい未来を子ども達と共に作る、優れた保育者になるため、幅広く一緒に学んでいきましょう。

さて希望に満ちた大学生活が、いよいよ始まります。大学内での授業やサークル活動でも、学外でも、様々なことにチャレンジして欲しいと思っています。その中で、楽しみにして欲しいのは、色々な方との出会いです。成人として、それぞれの方の価値観を認め合い、尊重し合って、素晴らしい出会いをしていただきたいと思っています。数多くの体験と出会いが、皆さんを大きく成長させるでしょう。

我々教職員一同は、皆さんの様々なチャレンジを全力で応援致します。

皆さんが充実した大学生活を送られることを、心から祈念し、入学式式辞とさせていただきます。

令和5年4月2日 ども教育宝仙大学 学長 太田誠一